

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	D 建設・整備事業	
事務事業名	自転車通行環境整備事業				事業番号	019-091	
担当部署名	建設局	局	サイクルシティ推進部	部	自転車環境整備課		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～		施策	(6)自転車を活かした魅力の創出	
			有	取組の方向性	③自転車通行環境の形成				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	自転車利用環境の満足度				
			有	現状値	37.1%(参考値)(2019年度)		目標値	50.0%(2025年度)	
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.2	
			有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	

2	関連計画	堺市自転車活用推進計画		
3	事業開始年度	平成 20 年度	点検対象年度（個別計画）	令和 9 年度
4	実施根拠	道路法、道路交通法、自転車活用推進法		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	堺市民及び来堺者（不特定多数）	対象数	単位
			約80万	人
7	事業の目的	歩行者の安全を第一とし、自転車利用者の安全に配慮した自転車の通行空間を確保する。 通行空間の連続性を確保した自転車ネットワークを形成し、回遊性や快適性を高める。 広域的な自転車ネットワークの形成を推進し、自転車による周遊を促し、地域の活性化や賑わいの創出につなげる。		
8	事業内容	○自転車通行環境の整備 府道堺泉北環状線などで自転車通行環境の整備を行う。 令和7年度：府道大阪和泉南線ほか（L=2.4km）,府道堺泉北環状線（L=0.2km）		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—		
9	主な支出先	請負業者		
10	公民連携・協働事業	—		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標	単位		実績		目標	目標
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
サイクルシティ堺としての都市魅力の認知度	%	目標値	—	—	54	58
		実績値	—	—		
		達成率	—	—		
当該指標を選定した理由	「サイクルシティ堺」として都市魅力を向上させることが、新たな市内誘客や交流促進につながると考えるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	過半数以上の方に「サイクルシティ堺」の都市魅力を認知してもらうため、2030年度の目標値を70%と設定した。これを踏まえ、堺市基本計画2025のKPIとして設定していた「自転車利用環境の満足度」の最終目標値である50%を基準とし、2030年度目標値から割り戻し、初年度である令和8年度目標値を設定した。 令和8年度目標値：54%＝50%＋（70%-50%）/5年 令和9年度目標値：58%＝54%＋（70%-50%）/5年					
活動指標	単位		実績		目標	
自転車通行環境整備延長（累計）	k m		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		目標値	73	75	86	
		実績値	74	76		
		達成率	101%	101%		
当該指標を選定した理由	自転車通行環境整備の各年度における推移や進捗状況を把握するため。					
目標値の設定根拠・算出方法	予算化された額と予定路線の想定単価から算出している。（令和8年度目標からは大和川リバーサイドサイクリンを含む堺市内全体の整備延長とする）					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		自転車通行環境整備事業				事業番号		019-091				
Ⅲ. 投入量												
事業コスト												
※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）												
13	財 源 内 訳	項 目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
			決算		決算		当初予算		当初予算			
		事業費（a）	36,696		49,301		51,713		58,879		46,612	
		国支出金	14,751		20,287		23,705		23,705		22,000	
		府支出金	0		0		0		0		0	
		市債	15,400		22,100		24,000		27,300		21,800	
		その他（ ）	0		0		0		0		0	
		受益者負担金(使用料、手数料等)	0		0		0		0		0	
14	人件費（b）	36,000		36,000		28,800		28,800		29,800		
		72,696		85,301		80,513		87,679		76,412		
年間経費（c）=（a）+（b）												
事業費の内訳												
（単位：千円）												
16	事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	
		自転車通行環境整備工事	R7	決算	50,004	3,004	使用料及び賃借料	R7	決算	132	132	
			R8	予算	43,000	1,500		R8	予算	147	147	
		自転車通行環境詳細設計業務	R7	決算	4,342	337	負担金、補助及び交付金	R7	決算	0	0	
			R8	予算	2,500	200		R8	予算	2	2	
		旅費	R7	決算	368	368	報酬	R7	決算	2,876	2,876	
			R8	予算	332	332		R8	予算	0	0	
		需用費	R7	決算	581	581	職員手当等	R7	決算	573	573	
			R8	予算	628	628		R8	予算	0	0	
		役務費	R7	決算	3	3		R7	決算			
			R8	予算	3	3		R8	予算			
		Ⅳ. 事業の効率性										
単位当たり経費												
17	区 分	単位			令和6年度		令和7年度					
	①	自転車通行環境整備延長			m	1,840		2,660				
	②	上記①にかかる年間経費			千円	85,301		87,677				
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）			円/単位	46,359		32,961				
算出についての説明等		自転車通行環境の整備は、整備する路線の実状に合わせた整備内容となるため、整備する路線毎に変動する傾向がある。										
Ⅴ. 評価												
費用対効果に係る所見												
18	単位当たり経費は整備内容により増減するが、路線毎に適切な整備内容により自転車通行環境を整備することで、利用者にとって安全・快適な通行環境を確保する。 なお、昨年度の事務事業評価シートの成果指標としていた自転車利用環境の満足度については、令和6年度が目標47%に対して実績41.6%、令和7年度が目標50%に対して実績41.9%であった。											
	KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）											
19	計画的に自転車の通行環境を整備することにより、利用者に安全・快適な通行環境を実感してもらえる機会が増加することから、自転車利用環境の満足度の向上につながり、基本計画のKPI達成に向けて寄与している。											
	令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）											
20	必要性	■ 高い □ 低い	自転車通行環境を整備することにより、利用者に安全・快適な通行環境を実感してもらえる機会が増加し、自転車利用環境の満足度向上につながった。									
	有効性	■ 高い □ 低い	整備延長：（R3）67km → （R7）76km									